

来馬岳 1040m

登別市カルルス町

(記)山岸 2022, 3, 17

山行日	2022(令和4)3月13日(日) うす曇り 0°C~3°C 無風	
山行形式	日帰り登山、スノーシュー、山スキー	
参加者	CL長沼スノーシュー、甲班スキー:L澤田、酒井、太田、八重樫、宇田 (5名) 乙班スキー:L内山、S西田、水江、竹内、笹山、山岸 (6名) スノーシュー班:川村、小笠原、栗山、津川、増川、笠原 (7名)	18名

サンライバスキー場に8時集合だが7時半頃には数台の車、皆張り切ってるな！ 長沼リーダーの挨拶後、Tさんのユニークな体操後、3班に分かれビーコンチェックしながら、ゲレンデ左側を七曲りコースを目指してスノーシュー班から出発。(このまま最初から最後下山までスノーシュー班が先頭を譲らない)

七曲りコースに入ると雪質悪く、ガリガリで難儀する。帰りは日が照り良くなると思うが、急登が現れ、アイゼン装着、忘れた者あり、苦勞して登っていた。

ここは下山滑走は苦勞しそう。



スキー場を登る

時刻	場所・状況・行動
8:20	スキー場登山口発
9:10	C607m七曲り急登場
9:50	旧第2リフト終点
10:15	C818ポコ
11:00	C890m大展望 5名 撤退、昼食
11:30	8名頂上攻略、シューは、11:15
12:20	C890mから下山開始(スキー班)
12:40	ダイナミックコース滑走
12:50	スキー場登山口着
登山hr	登り 3:00 下り 1:20



白銀がまぶしいオロフレ山



アイゼン装着3月に入ったら必携です

やっと旧第2リフト終点。ここから本格的な山歩き、正面のポコを左に入り大きな雪底下を登る。シューは右側ポコを巻いて行ったようだ。

今年は雪が多く最高の雪洞が惚れそう。昔の冬山訓練を思い出す。雪庇の少ない所から尾根に登り、シュー班を追う。..が、水分ありの雪質、シールに雪が付く、団子状態 Sさんが持っていたシールワックスを借り対処する。3月に入ったら、アイゼンとシールワックスが

必携！
頂上はくっきりと見える、その下に黄色いツェルトにシュー班の2人が食事をとっていた。7合目、ここで今日の頂上とする。大展望だ！ 右足臀部



C890m大展望の優雅な2人



来馬岳山頂(撮ってる人、入れても9名?)

が痛い。先日の大雪の除雪で腰痛？ 体力不足か、昼食取ってたら、Sさん降りてきて、しばらくしてシュー班が次に降りて来る。スキー班は？ 待ったが、シュー班先に降りて行った。今日の山はスノーシューに完敗。

ダイナミックコースを又苦勞して降りた。雪は柔くなったが何せ体力が無く...降りてきたスキー班とやっと合流し全員無事下山。怪我無く、13時解散。色々有ったが楽しい山行でした。リーダー始め皆さんに感謝します。



スキー甲班、乙班の精鋭10名